

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-13 鎌倉・大船消防署警防活動事業				ザイムスコード及び個別事業名					
	□支援部門									
主管課	鎌倉・大船消防署		関連課							
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	救急件数の少ないまちづくり 火災件数の減少を目指し、火災予防の啓発を図る									
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考						
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯							
運営資源 状況	決算値									
	(国・県)						指標と評価			
	(負担金等)						指標	消防力の充実		
	(一般財源)						評価	○		
	人員配置数	180.0人	177.0人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人件費	1,703,657千円	1,698,605千円					目標値	実績値	
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費	1,703,657千円	1,698,605千円	20年度	○	○				
	市民1人当 りの経費			21年度	○	○				
	対象者1人 当りの経費	9,643円	9,625円	22年度	○					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名									
				23年度	○					
				最終年度 (年度)	○					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・当直業務中における訓練時間の確保及び工夫について								
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・管理職による職場巡回を行い、職員間で様々な問題点を話し合う機会をつくった ・火災件数の減少については、あらゆる機会を通じ市民に防火意識の高揚を図った ・当直業務中の訓練については、複数隊が合同に実施するなど工夫した結果、成果があったと考えている								
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・当直業務中における訓練については、災害出場優先のため、時間を確保することが難しい ・限られた人員であるため、効率よく研修に派遣させることが制限される								
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・様々な課題の抽出・整理を行い訓練の実施や研修の派遣に努める								
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了										
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性				
A	無	職員の知識や技術の向上を図ることはもとより、市民に対する防火意識の向上も図る			A	無	今後も継続して、消防力の充実強化を図る			
課長名		堀 英彦		部名・部長名		消防本部 畑 光則				